

おもてなしの  
心



代表取締役 中川 信男さん

例えば、牛乳を飲まない人がジェラートを食べたいと言えば、多くの人が「えーっ」と驚くでしょう。ジェラートに牛乳が入っているのは当たり前。そんな考えを取り払わない限り、彼らにとって京都は決して快適な場所にはなりません。おもてなしはひととめで提供できるものではなく、一人ひとりに寄り添って、その人が何を求め



心地良い  
おもてなしを  
やわらかな  
口に添えて

こころを込めて  
我が社のおもてなし

## プレマ株式会社 (プレマルシェ・ジェラテリア)

代表者 / 中川 信男  
住 所 / 京都市中京区三条通猪熊西入御供町308  
T E L / 0120-841-828  
U R L / <https://gelato.organic/>

ジェラートのほんのり甘く優しい香りに包まれたショップには、地域の人はもちろん、京都を訪れた観光客や外国人の笑顔がいっぱいあふれています。

お客様の中には、健康上の理由や食文化の違い、あるいは個人的な主義として、牛乳を飲まなかったり卵を食べなかったりする人もいます。「フードバリア(食の障壁)を取り払いたいですね」と中川さん。例えば、長期発酵させた白みそと豆乳で仕上げたジェラートは、動物性素材を一切使っていませんが、口に入れると不思議なことに濃厚なチーズのような味わいが広がります。そのほか、イタリヤのコンテストで入賞したほうじ茶と宇治茶のジェラートや、黒胡麻などナチュラル素材を使った真っ黒なジェラートも人気を集めています。

「一人ひとりの個性を尊重すること。それが私たちのおもてなしの基本です」。46種類の多彩なメニューにはすべて素材・成分が表示され、スタッフがお客様の好みや要望に耳を傾けながら、その人に最も合ったスイーツをお勧めしています。ここに来れば、どんな人でもいろんな選択肢の中から、バリアフリーでやわらかなジェラートの口どけを楽しむことができるでしょう。最近では、ヴィーガン(菜食主義の人)もたくさん店を訪れるといいます。

木々のつぼみがいよいよ芽吹き、陽射しもポカポカと暖かくなってきました。コートも脱いで、春めき始めた街で笑顔がほころぶジェラートでも召し上がりませんか？

ているかを理解し、そのニーズに添えていくことだと思っています。最近では、私たちが店を構える三条会商店街の中でも外国人観光客をよく見かけるようになりました。言葉はもちろん、文化や習慣、嗜好性の違い；それらをその人たちの個性ととらえ、多様性を受け入れることから、本当のおもてなしは始まるのではないのでしょうか。